

# 令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【田島中学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	「授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか」の質問項目において肯定的な回答の割合が、83%であった。来年度は、全学年ともに85%以上を目指す。
思考・判断・表現	「授業で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていると思いますか」の質問項目において肯定的な回答の割合が、全学年ともに90%以上を目指す。
主体的に学習に取り組む態度	「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において肯定的な回答の割合を、どの学年も80%以上を維持する。また、来年度は「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。」の質問項目において、肯定的な回答の割合を、どの学年も80%以上を目指す。

① 目標・策		
	目標	策
知識・技能	R5年度市学習状況調査の分類「学習状況」の「授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか」の質問項目において肯定的な回答の割合70%以上を目指す。	⇒ 授業において、習得した概念や法則などの知識を活用し、自分なりの考察を加えてまとめた考えを表現する場面を設定する。
思考・判断・表現	R5年度市学習状況調査の分類「学校生活」の「授業で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていると思いますか」の質問項目において肯定的な回答の割合70%以上を目指す。	⇒ 授業において、課題等について意見交換や事実の追求などの、課題解決へ向けて学びを深めていく中で、互いの理解を共有し、認め合う場を設定する。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度市学習状況調査の分類「学校生活」の「これまでの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において肯定的な回答の割合70%以上を目指す。	⇒ 授業において、学びに対する必要感を強くもてる課題を設定し解決の見通しをもたせ、自力解決する場を設定する。

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	R5年度市学習状況調査の分類「学習状況」の「授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか」の質問項目において肯定的な回答の割合が、全学年目標値を10pt以上上回った。	A
思考・判断・表現	R5年度市学習状況調査の分類「学校生活」の「授業で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていると思いますか」の質問項目において肯定的な回答の割合が、全学年ともに目標値を大きく上回った。	A
主体的に学習に取り組む態度	R5年度市学習状況調査の分類「学校生活」の「これまでの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において肯定的な回答の割合が、全学年において目標値を10pt以上上回った。	A

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	R4年度の自校の結果と比較し、国語-2pt、数学-2ptであった。特に国語の「我が国の言語文化に関する事項」において、誤答や無解答が多かった。
思考・判断・表現	国語の「読むこと」において課題がみられた。特に、「文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること」を苦手としていることが考えられる。根拠を読み取り、考える力を高める活動を重視したい。
主体的に学習に取り組む態度	「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問事項について、肯定的な回答の割合は83%であった。今後も、主体的な学びとなるよう努めていく。

④ さいたま市学習状況調査結果・分析	
※令和5年度のさいたま市学習状況調査結果は参考値扱いとなります。	
中1	理科における「粒子を柱とする領域」について、正答率の割合が市平均に比べ3pt以上上回った。国語における「言葉の特徴や使い方に関する事項」、社会における「世界の様々な地域」、数学における「数と式」、「図形」について、正答率の割合が市平均に比べ下回った。基礎・基本における学習内容については、繰り返しの学習で定着を図り、生徒が知識・技能を習得していけるよう、授業改善に努める。
中2	国語における「我が国の言語文化に関する事項」、社会科における「世界の様々な地域」、数学における「数と式」、「データの活用」、理科における「地球を柱とする領域」について、正答率の割合が市平均と比べ下回った。既習内容を確認するとともに、繰り返し学習させ、定着を図っていく。また、生徒が知識・技能を習得していけるよう、授業改善に努めていく。
中3	「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において肯定的な回答の割合は80%であった。「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」の質問項目において、肯定的な回答の割合は88%であった。2年次の結果をほぼ維持し、主体的に学習に取り組む様子が窺える。

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
	目標	策
知識・技能	変更なし	⇒ 変更なし
思考・判断・表現	変更なし	⇒ 変更なし
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒ 変更なし